

経済・生活を支える社会インフラの充実

資—土木1
監理課
内線4127

土木交通部【予算額 36,994,886千円（対前年比 102.5%）】

『人やものが行き交う活力ある県土づくりと安全・安心社会の実現』を推進するため、生産拡大効果や安全・安心効果などのストック効果を発現する社会インフラの整備や戦略的維持管理に重点的に取り組みます。

地域の活力を支える県土基盤づくり

（ストック効果の発現）

- ・名神高速道路、北陸自動車道沿線は、生産活動が活発で、観光資源が豊富。
- ・スマートインターの整備により、高速道路が通過する恩恵を広範囲に拡大。



着実な推進



（地域の安全・安心の確保等）

- ・ミニバイパスや交差点改良など小規模事業の実施により、地域の安全・安心につながる道路整備を着実に推進。



地域の活性化

災害に強い県土づくり

（天井川の改修）

- ・天井川は、破堤による被害が甚大で、平地河川に比べ堤防が高く地域を分断。
- ・天井川の改修により災害リスクを低減し、安全・安心を確保。



河川の防災対策、下水道整備による、安全・安心感への影響

取組の強化



（堤防の質的強化等）

- ・当面、改修がおよばない河川、区間において、氾濫時の人的被害を回避するため、天井川の安全対策の取組を強化。

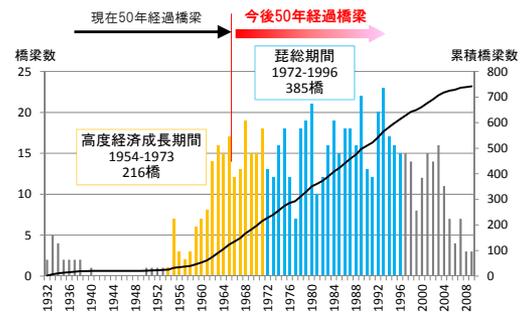


治水安全度の向上

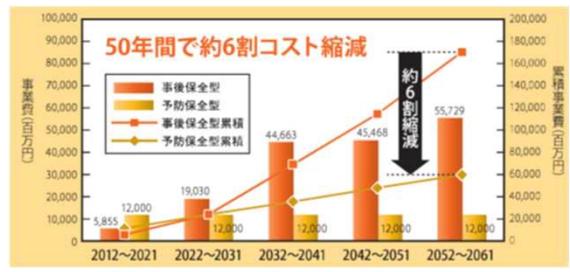
社会インフラの戦略的維持管理

（橋梁の長寿命化）

- ・滋賀県では、琵琶湖総合開発の期間（S47～H8）に建設された橋梁が多く、今後、老朽化が急速に進行。
- ・予防保全の考え方を取り入れた橋梁長寿命化計画をH23に策定し、計画的に橋梁の修繕を推進。



県管理の橋梁建設年次の推移（橋長15m以上）



予防保全による事業費の推移（橋長15m以上）

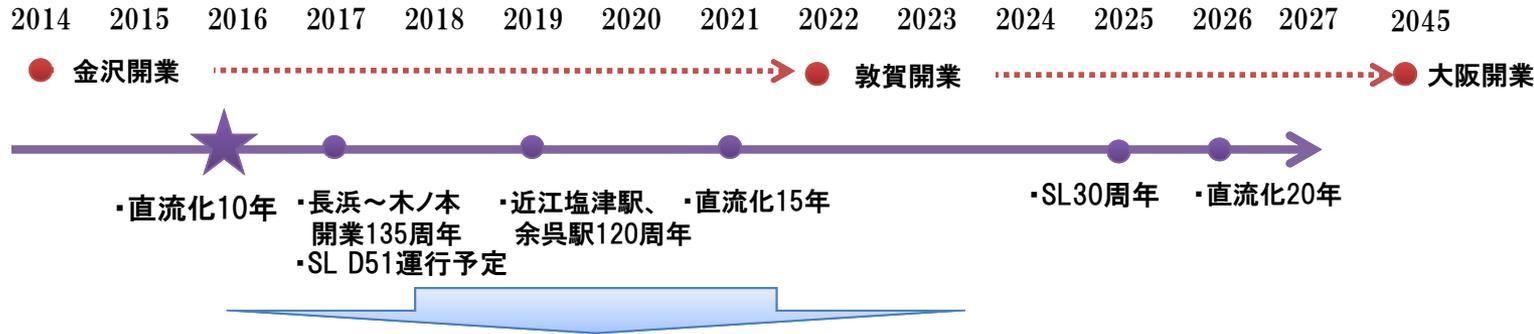
※ ストック効果：整備された社会インフラが活用されることで、長期にわたって経済活動を活性化させたり、人々の生活を豊かにする効果

北びわこエリア地域交通活性化推進事業

資-土木2

交通戦略課
内線3680

予算額【5,000千円】



高速鉄道ネットワークの整備を見据え、北びわこエリアの地域交通活性化に向けた取組を推進
および、北陸本線・湖西線・琵琶湖線・東海道本線等の利用促進、駅を中心としたまちづくりの推進

利用促進事業

【地元利用促進】【アクセス確保】【継続した集客】

○北びわこ3市連携促進事業

- ・地域活性化および公共交通利用促進に向けた意識醸成
- ・地域活性化推進委員会の運営(企業・交通事業者等も参画)
- ・各種モビリティ・マネジメント取組策の検討

○地元利用客増進プログラムの実施

- ・学校、自治会等における鉄道利用助成
- ・地元利用者の鉄道・駅への愛着向上

○北びわこ周遊観光キャンペーン実施

- ・「北びわこ見聞録」の発行による観光誘客の促進
- ・交通アクセス確保(エスコートバス運行、レンタサイクル乗り捨て)
- ・SL北びわこ号運行支援(警備、SLまつり実施)

主体：鉄道を活かした湖北地域振興協議会(県1/2補助)

重点事業

【直流化10年】【東海道駅活用】【受入環境整備】

主な事業

○北陸本線直流化10周年記念事業

- ・長浜、米原、近江塩津各駅等での地元利用促進事業

○東海道本線3駅(醒ヶ井～柏原)利用促進事業

- ・JR東海との連携事業
- * さわやかウォーキングおもてなし、鉄道利用による観光誘客
- * 近江長岡駅アウトドア拠点化に向けたレクリエーション社会実験

○D51受入れ環境整備事業

- ・D51運行に向けた各駅の表示等変更・広報

主体：鉄道を活かした湖北地域振興協議会(県1/2補助)

北びわこ地域への旅客流動を太くし、
公共交通網の維持・確保、利便性向上へ

安全・安心な自転車利用促進事業

資一土木3

交通戦略課
内線3680

道路課
内線4134

【予算額 6,700千円】

☆自転車を取り巻く環境・・・

- 自動車から公共交通機関や自転車を組み合わせる移動への転換促進
- 道路交通法改正（H27.6.1）



自転車等が安全に通行し、安心して暮らすことができる環境づくりが必要

そのために

- 県民運動としての取組
- 情報発信の充実・強化
- 自転車を安心して活用できるまちづくり
- 道路における環境整備
- 体験型交通安全教室

が必要！

具体的な取組

安全利用啓発

交通戦略課

☆安全・安心な環境構築に向けた啓発

【事業】

- ・チラシ等による周知
- ・自転車安全教室 等



情報発信

交通戦略課

☆自転車の利用にかかる情報発信

【事業】

- ・WEBページ作成
- ・SNS等による発信



まちづくり

交通戦略課

☆自転車を安心して活用できるまちづくり

【事業】

- ・先進地調査、研究
- ・関係者の意識醸成



道路環境整備

道路課

☆自転車が安全で走行し易い環境整備

【事業】

- ・路面表示等の充実

通行箇所表示(例)



新交通システム推進事業

～交通の力で、50～100年を見据えた「新しい豊かさ」の具現化を目指す～

資一土木4

交通戦略課
内線3680

予算額【22,500千円】

大津湖南地域は京阪神への通勤・通学圏として、開発が進み人口が集積したD I D区域が拡大

* DID=Densely Inhabited District 人口集中地区

特に、瀬田駅・南草津駅から「びわこ文化都市公園」を取り囲むエリアは、企業や大学・研究機関、病院、図書館や美術館等の施設や住居地区が集積する、**滋賀県のリーディングゾーン**。

人口減少局面において、地域の活力を減退させないためには、**持続可能な公共交通網の整備が必要**。

○拡大したD I D区域と集積した人口の維持・地域の活性化が必要

～持続可能な社会を目指して～

地域公共交通網形成計画の策定による、歩いて暮らせるまちづくりの実現へ

交通事業者・地元市・関係団体等と連携して法定協議会を設置して検討

【策定期間】H28～H29

【目的】

歩いて暮らせるまちづくりの実現・BRTの導入促進

公共交通サービスの改善・新交通システム導入検討

【具体的施策案】

BRTの徹底活用(BRT導入ルート of 拡大・BRT次期導入計画検討)

バスネットワーク再構築・バスロケ等バス利用環境改善実施計画の検討

新交通システム導入における課題と実現可能性の検討

UTMS(新交通管理システム)を活用した道路交通管制の充実化検討



～課題の解決を目指して～

大学と連携した調査研究
(立命館大学、龍谷大学)

- ✓LRT等の新交通システム検討
- ✓公共交通活性化策等、モビリティ・マネジメントの実施



滋賀県空き家団地リノベーション支援事業

資一土木5

住宅課
内線4235

事業の背景

高度経済成長期に開発された住宅団地において、今後の人口減少社会を見据えると、空き家の増加や高齢化の進行により、団地の荒廃が進む恐れがあります。

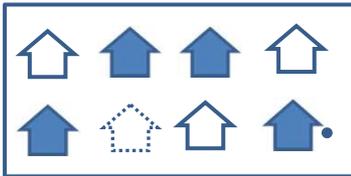
事業の目的

【予算額 5,260千円】

住宅団地を重要な社会インフラとして捉え、団地内にある空き家を子育て世帯向けにリノベーションする民間事業者を支援することにより、「空き家対策」と「子育て支援」さらに「社会インフラの戦略的維持管理」に取り組むものです。

事業のイメージ

Before



団地イメージ

【平成28年度】

- ①対象団地の詳細調査
- ②検討会議の開催
(市町および学識経験者等+NPOおよび業界団体等)
- ③支援対象団地およびリノベーション基準の策定等

空き家団地リノベーション

【平成29年度～(予定)】

モデル事業を行う民間事業者を支援

団地の荒廃

- 空き家の増加
- 空き地の増加

地域における
異世代居住の推進

- リノベーション住宅の供給
- 個別建替を誘導

地域で
子育て

子育て仕様の
対面キッチン



団地イメージ

- ・ どのような洪水からも命を守る「流域治水推進事業」
- ・ 水害に強い安全安心なまちづくり推進事業

資-土木6

流域治水政策室

内線4291

【予算額計 36,809千円】

水害に強い地域づくり協議会 “住民WG”

○2階建て家屋は避難空間を確保

× 平屋家屋は軒下まで水没
× 逃げ遅れた場合、命にかかわる



昭和34(1959年)伊勢湾台風

支援

① 水害に強い地域づくり事業

1) 浸水警戒区域支援事業(拡充)

浸水警戒区域の基礎調査(避難場所や自宅の高さを測量)
および指定に係る土地の測量調査

2) 避難勧告等の判断基準改訂事業

市町の地域防災計画に反映させるため、河川の危険および
はん濫危険水位の見直しを行う

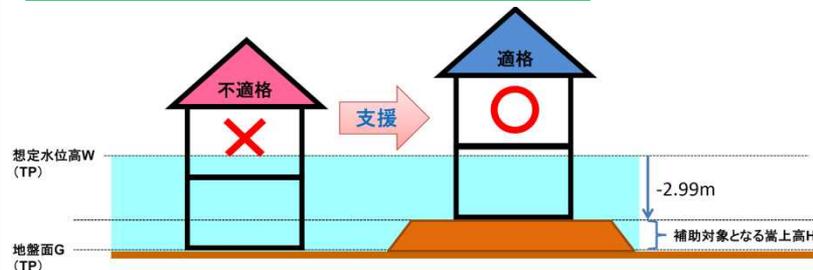
3) 見て分かる水害情報事業

水害情報収集や出前講座等を通して住民の水害意識の向
上を図り、地区の水害に強い地域づくりを促進

4) 水害に強い安全安心なまちづくり推進事業(新規)

浸水警戒区域における既存住宅の嵩上げなどへの支援を
行い、安全な住まい方への誘導を促進

水害に強い安全安心なまちづくり推進事業



曳家による嵩上げ

基礎情報

② 「地先の安全度マップ」のシステム更新事業

天井川等の治水対策の充実

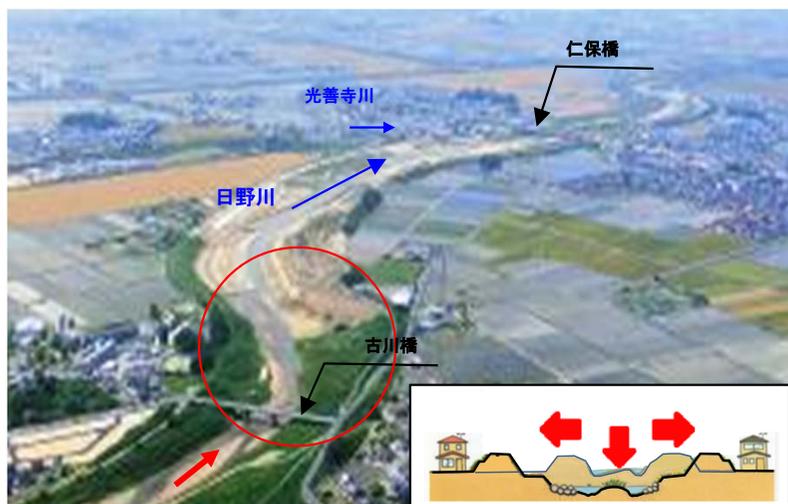
関東・東北豪雨による鬼怒川の堤防決壊や平成25年台風18号の被害を踏まえ、天井川の河川改修や堤防強化等をはじめとした「洪水を安全に流す対策」を推進します。

資一土木7

流域治水政策室
内線 4152
河川・港湾室
内線4157

【予算額 7,288,694千円】

日野川広域河川改修事業(大規模河川の切下げ改修)



鴨川災害復旧助成事業
(破堤箇所を含む一連災害区間の改良復旧)



祖父川単独河川改良事業(堤防強化:遮水矢板工)



姉川単独河川改良事業(堤防強化:堤脚ドレーン工)



ストック効果を高め、滋賀のポテンシャルをさらに引き上げる 道路ネットワークの整備推進

資一土木8

道路課

内線4132

滋賀県道路整備 アクションプログラム2013

将来10年間の道路整備計画

厳しい財政状況の中、「**選択と集中**」による**重点化**を図り、地域に真に必要な道路を優先して整備

【予算額 11,910,896千円】

近年開通した道路による“ストック効果”

積雪時においても「命の道」を確保



H26.11開通

国道365号椿坂トンネル【長浜市】

ストック効果

- 「命の道」の確保
- 孤立集落の発生なし
- ※大雪による冬期通行不能なし(H26年度)
- スキー客の増加
- ※開通前年度比1割増)



H25.10開通

名神高速道路湖東三山スマートIC【愛荘町】

ストック効果

- 地域の活性化
- 地域振興施設(湖東三山館あいしょう)の開設
- ※計画を上回る来客者数

“ストック効果”を高め、滋賀のポテンシャルをさらに引き上げる 道路ネットワークの整備を推進

H28年度実施の主な事業

■スマートICの整備



県道丁野虎姫長浜線山脇工区:小谷城スマートIC【長浜市】

■幹線道路の整備



国道422号大石東バイパス【大津市】

期待されるストック効果

- 物流の効率化によるさらなる企業活動の発展を期待

期待されるストック効果

- 民間投資の誘発、人口・雇用の増加を期待

高速道路へのアクセス強化、物流拠点間のネットワークの強化

○県内産業における既存施設の付加価値向上
○新規成長産業の創出